

令和6年度 全国学力・学習状況調査「課題のみられた問題」

1 小学校「国語」

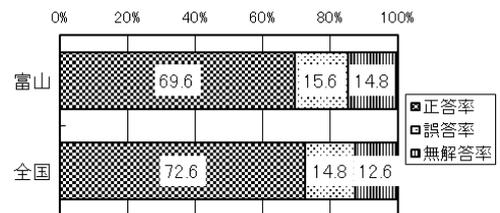
(1) 問題番号 3三 <正答率が全国よりも低く、無解答率が高い問題>

学習指導要領における内容：5・6学年 C読むことE

評価の観点：思考・判断・表現 問題形式：記述式

【出題の趣旨】 人物像や物語の全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすることができるかどうかをみる。

- ・正答率は69.6%で、全国平均より3.0ポイント低い。また、無解答率が14.8%（全国12.6%）で、全問題中最も高い。
- ・誤答については、心に残ったところを書いているが理由を書いていない、物語から言葉や文を取り上げているが心に残ったところを書いていない児童が合わせて11.5%（全国11.5%）である。



**正答例**  
オニグモじいさんが、ハエの女の子に、自分が食べているのは朝日のひかりだと話したところが心に残りました。その理由は、すなおな女の子をおどろかせず、安全に帰そうとするやさしさが表れていると思ったからです。(百字)

- （条件）
- 心に残ったところと、心に残った理由を書くこと。
  - 「物語」から言葉や文を取り上げて書くこと。
  - 六十字以上、百字以内にまとめて書くこと。

三 原さんは、鳥さんと話し合ったあと、「物語」を読んで、心に残ったところとその理由をまとめています。あなたなら、「物語」を読んで、心に残ったところとその理由をどのようにまとめますか。次の条件に合わせて書きましょう。

文章の内容については、調査問題をご覧ください。  
（松居スーザン「オニグモじいさんの朝ごはん」による。）

3 原さんの学級では、物語を読み、心に残ったところについて説明することにしました。原さんは「オニグモじいさんの朝ごはん」という題名の物語を選んで読んでいます。次は、原さんが読んだ「物語」です。これをよく読んで、あとの問いに答えましょう。

学習指導上の留意点

- 人物像や物語の全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすることができるようにする  
それぞれの心に残ったところとその理由を交流することにより、人物像や物語の全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすることができるようにすることが大切である。

指導のポイント

- ・児童自身が「人物像」や「物語の全体像」、「表現の効果」のどの観点で読んだのかを明確にしていくことができるよう、友達が着目したところと自分が着目したところを比べる場を設ける。
- ・自分の考えを適切に表現することができるよう、「なぜか」というとや「～からです」など、思考そのものに関わる語句や、「～のところから」など、根拠を表す語句を例示する。

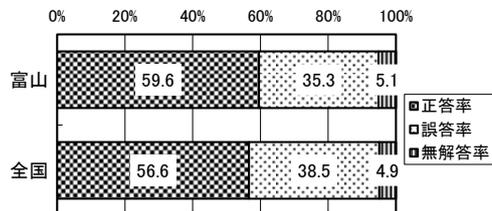
(2) 問題番号 2 二 <正答率が低い問題>

学習指導要領における内容：5・6学年 B書くことウ

評価の観点：思考・判断・表現 問題形式：記述式

【出題の趣旨】 目的や意図に応じて、事実と感想、意見とを区別して書くなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができるかどうかをみる。

- ・正答率は 59.6%で、全国平均より 3.0 ポイント高いが、全問題中 3 番目に低い。
- ・誤答については、下級生に聞いたことから言葉や文を取り上げて書いているが、「たてわり遊び」のよさについて考えたことを書いていない児童が 30.0% (全国 33.0%) である。



**正答例**

「お兄さんやお姉さんと遊べて楽しかった」という一年生や、「みんなが楽しそうであれしかった」という四年生がいます。このように、「たてわり遊び」のよいところは、学年をこえた交流ができるころだと思えます。(百字)

【高山さんの文章】

みんな仲良し「たてわりはん」

わたしたちの学校には、1年生から6年生までのメンバーが、同じはんで活動する「たてわりはん」の取り組みがあります。「運動会」や「たてわり遊び」を通して、ちがう学年の人とも仲良くなります。

「運動会」は、「たてわりはん」ごとに赤、青、黄の色を決め、3色対こうで行います。上級生が下級生に応えんの仕方教えたり、下級生も楽しめるように、アキょうぎの作戦を考えたりします。「みんなであつな引きをして楽しい」という2年生や、「下級生といっしょに応えんして熱い気持ちになる」という5年生がいます。このように、「運動会」のよいところは、みんなの心が一つになるころだと思えます。

「たてわり遊び」は、毎月1回、休み時間に「たてわりはん」で遊ぶ活動です。みんなが楽しめるように、6年生が、遊びたいことを下級生に聞いたり、ルールをくふうしたりします。例えば、ドッジボールでは、上級生が遠くからボールを上げるようにしています。

【高山さんの取材メモ】

「たてわり遊び」について  
6年生がくふうしていること  
○遊びたいことを下級生に聞く  
○ルールをくふうする  
ドッジボール 上級生は遠くからボールを上げる  
下級生に聞いたこと  
○1年生 お兄さんやお姉さんと遊べて楽しかった  
○3年生 好きな遊びや新しい友達が増えた  
○4年生 みんなが楽しそうであれしかった

二 高山さんは、次の「高山さんの文章」の考えた「たてわり遊び」のよさを書こうとしています。あなたが高山さんなら、【高山さんの取材メモ】をもとにして内容をどのように書きますか。あとの条件に合わせて書きましよう。

【高山さんのメモ】

【高山さんの考え】

「たてわり遊び」と「運動会」は、どちらも1年生から6年生までが同じ「たてわりはん」で活動していて、みんなが仲良しになる。このことが学校の一番のよさだと思うから、文章に書こう。

2 高山さんの学級では、学校のよさを伝える文章を書くことになりました。高山さんは、学校のよさを考えながらメモを書き、文章に書くことを決めました。次は、「高山さんのメモ」と「高山さんの考え」です。これらをよく読んで、あとの問いに答えましよう。

学習指導上の留意点

○ 事実と感想、意見とを区別して書くなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができるようにする

事実を客観的に書くこととともに、その事実と感想や意見との関係を十分捉えて書くことが大切である。自分の考えたこと等が客観的な事実と裏付けられたものになっているかどうかを振り返り、自分の考えをより深めていくことにもつながる。

指導のポイント

- ・取り上げた事実が、自分の考えを裏付けるものになっているかどうかを振り返り、内容に注目して、文章全体に一貫性があるかを確認したり、文末表現に注目して、事実と考えを適切に区別しているか、事実と考えを混同して書いているかを確認したりする場面を設定する。
- ・伝えたいことを支える事実としてふさわしいものを取り上げられているかを確認したり、事実を裏付けとすることでどのような考えを伝えたいのかを確認したりすることができるよう、児童同士で書いた文章を読み合い確かめ合う場面を設定する。

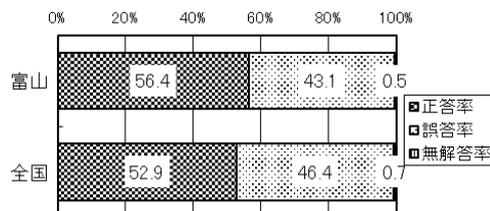
(3) 問題番号 1 二 (2) <正答率が低い問題>

学習指導要領における内容：5・6 学年 A 話すこと・聞くことウ

評価の観点：思考・判断・表現 問題形式：選択式

【出題の趣旨】 資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫することができるかどうかをみる。

- 正答率は 56.4% で、全国平均より 3.5 ポイント高いが、全問題中 2 番目に低い。
- 誤答については、用意していた実物を示しながら話したことを捉えることができなかった児童や、相手が興味を持っていることに気付いたことを捉えることができなかった児童が、合わせて 40.0% (全国 43.1%) である。



(2) 和田さんは、村木さんの発言⑥を受けて、発言のようには話しました。和田さんの話し方のくふうとして最も適切なものを、次の 1 から 4 までの中から一つ選んで、その番号を書きましよう。

- 1 相手が興味をもっていることに気づき、相手の言葉を引用して話した。
- 2 相手が興味をもっていることに気づき、用意していた実物を示しながら話した。
- 3 相手が興味をもっていないことに気づき、言葉の意味を説明しながら話した。
- 4 相手が興味をもっていないことに気づき、自分の体験を加えて話した。

**正答 2**

1 海風小学校の和田さんの学級では、深緑小学校の村木さんとしようかいし合おうとしていました。和田さんは、深緑小学校の村木さんとしようかいし合おうとしています。次は、村木さんから事前に「和田さんに届いたメールの内容」です。これをよく読んで、あとの問いに答えましよう。

二 「和田さんは、「和田さんのメモ」を生かして、村木さんとオンラインで交流しましよう。次の「オンライン交流の様子の一部」

深緑小学校 村木さん

海風小学校 和田さん

① はじめまして。海風小学校の和田さんです。今日は、とても楽しみにしていました。

② はじめまして。深緑小学校の村木さんです。今日は、とても楽しみにしていました。

③ メールありがとうございました。図書委員会のことを知りたいということだったので、まず、海風小学校の図書委員会の取り組みのしようかいで、読書イベントが、月に1回、図書委員会で、クイズなどをして、私もそれに参加して、今まで読んだことがない分野の本を読みましました。

④ せっかく教えてもらったのですが、だれが何をしているのかが分からなくなつたので、もう一度教えてもらえませんか。

⑤ 説明がよくわかつたですね。話し方を変えますね。図書委員会が、月に1回、クイズなどの読書イベントをしてくれます。私もクイズに参加ましました。今まで読んだことがない分野の本を読むことがましました。

⑥ よくわかりまました。おもしろそうですね。

⑦ そうなんです。先月の読書イベントでは、図書委員がさまざまな分野から本を選び、本の内容からクイズを出題してくれました。これが、実際に出題されたクイズが書かれたカードです。私も参加することで、科学の本に興味をもつことがましました。

⑧ 本に興味をもってもらえるようになるのはいいですね。ぜひやってみます。

⑨ 次に、私たちの学校の給食についてしようかいしたいのですが、いいですか。

⑩ お願いします。

⑪ アイデア給食というものがあります。年2回、自分たちが考えたこんだてが登場まします。海に近くて、魚がたくさんとれるので、魚料理などを考えます。みんなでアイデアを出し合つたこんだてが登場するので、アイデア給食と呼んでまします。

⑫ みんなで考えたこんだてが出るなんてうらやましいです。私の学校は、ランチルームがあり、全校のみんなで給食を食べます。

⑬ みんなで食べられるなんて、楽しそうですね。

⑭ はい。給食の時間が楽しまです。ところで、和田さんの学校は、海に近しいことですが、他にも、海に近い学校ならではの取り組みはありますか。

⑮ えっと…【和田さんのメモ】を見返す、二つあります。総合的な学習の時間の取り組みと、砂浜の清掃活動です。

⑯ 二つもあるんですね。ぜひ、一つ一つわたくし教えてください。

～(交流が続く)～

学習指導上の留意点

○ 資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫することができるようにする

表現を工夫するためには、相手や目的を一層意識し、どのような資料を用意すればよいかを考えることが重要である。実際に話す場面では、聞き手のうなずきや表情等にも注意しながら、聞き手の状況に応じて自分の考えが伝わるように表現を工夫することが大切である。

指導のポイント

- 音声言語だけでは聞き手が理解しにくかったり、誤解を招きそうだったりする場合等に資料を使いながら話すことや、聞き手の興味・関心や情報量等を予想し、どのような資料を用意すればよいかを考える場面を設定する。
- 目的や意図に応じて資料の順番を変えたり、適切な時間や機会での資料の提示の仕方について検討したりする時間を設ける。
- 映像ややりとりのモデル等を使い、聞き手のうなずきや表情等の反応にも目を向け、適切な時間や機会を判断し表現することのよさに気付くことができるようにする。

## 2 小学校「算数」

### (1) 問題番号③(3) <正答率が低く、無解答率が高い問題>

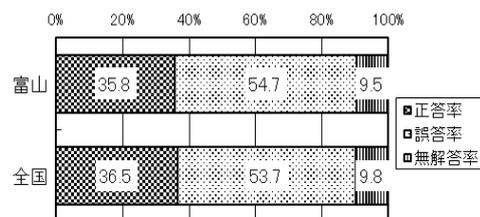
学習指導要領における領域・内容：3 学年 B 図形(1)ア(ウ)イ(ア)

5 学年 B 図形(4)ア(イ)イ(ア)

評価の観点：思考・判断・表現 問題形式：短答式

**【出題の趣旨】** 球の直径の長さと同立方体の一辺の長さの関係を捉え、立方体の体積の求め方を式に表すことができるかどうかをみる。

- ・ 正答率は 35.8% で、全国平均より 0.7 ポイント低い。また、無解答率は 9.5% (全国 9.8%) と高い。
- ・ 誤答については、 $22 \times 3.14$  のように直径の長さと同円周率から体積が求められると誤って捉えている児童が 18.7% (全国 16.0%)、 $22 \times 22$  のように立方体の一つの面の面積を記述している児童が 6.5% (全国 8.5%) である。

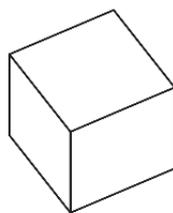
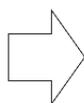
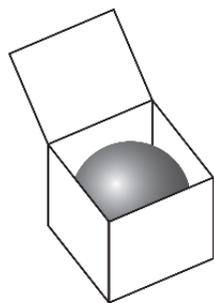


③ (3) 直径 22 cm の球の形をしたボールがあります。



この立方体の形をした紙の箱の体積が何  $\text{cm}^3$  かを求める式を書きましょう。ただし、紙の厚さは考えないものとします。また、計算の答えを書く必要はありません。

このボールがぴったり入る立方体の形をした紙の箱の体積を調べます。



正答  
 $22 \times 22 \times 22$

### 学習指導上の留意点

- 図形を構成する要素を見だし、それらを活用して体積を求めることができるようになる身の回りの形から図形を捉え、図形を構成する要素を見だし、体積を求めるために必要な情報を判断できるようにすることが重要である。

#### 指導のポイント

- ・ 直径が示されている 1 個のボールがぴったり入る、一辺の長さが示されていない立方体の箱の体積を求める活動を設定し、立方体を真上や真横から観察するなどして、球はどこから見ても同じ円であることや、その円の直径は球の直径と等しく、立方体の一辺と等しいことを理解できるようにする。
- ・ 立方体の体積は、一辺の長さを測ることによって、(一辺)  $\times$  (一辺)  $\times$  (一辺) の式で求められることを理解できるようにする。

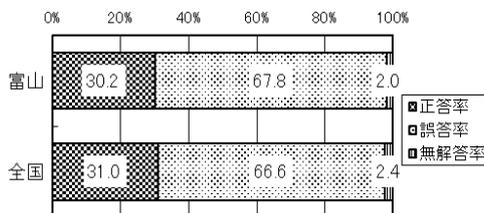
(2) 問題番号4(3) <正答率が最も低い問題>

学習指導要領における領域・内容：5 学年 C変化と関係(2)ア(ア)イ(ア)

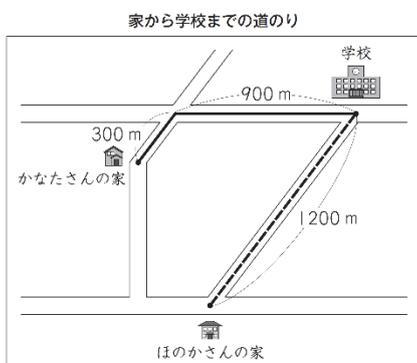
評価の観点：思考・判断・表現 問題形式：記述式

**【出題の趣旨】** 道のりが等しい場合の速さについて、時間を基に判断し、その理由を言葉や数を用いて記述できるかどうかをみる。

- ・正答率は30.2%で、全問題中最も低く、全国平均より0.8ポイント低い。
- ・誤答については、かなたさんとほのかさんが歩いた道のりが等しいことを表す言葉や数は記述できているが、かなたさんがかかった時間がほのかさんがかかった時間よりも短いことを表す言葉や数の記述が不十分な解答が28.5%（全国30.8%）である。



4 (3) かなたさんとほのかさんは、それぞれの家から学校まで歩いて行きました。



家から学校までの道のりは、上の図のとおりです。  
 家から学校まで、かなたさんは20分間、ほのかさんは24分間かかりました。  
 それぞれの家から学校までの歩く速さを比べると、かなたさんとほのかさんのどちらが速いですか。  
 下の1と2から選んで、その番号を書きましょう。  
 また、その番号を選んだわけを、言葉や数を使って書きましょう。

- 1 かなたさん
- 2 ほのかさん

<正答の条件>

かなたさんの方が速いと判断できた上で、次の二つの事柄が書けている。

- ・かなたさんとほのかさんが歩いた道のりが等しいこと
- ・かなたさんがかかった時間がほのかさんがかかった時間よりも短いこと

もしくは、次の二つの事柄が書けている。

- ・かなたさんの歩く速さ
- ・ほのかさんの歩く速さ

正答例

【番号】1

【わけ1】 かなたさんの家から学校までの道のりは、 $900 + 300 = 1200$ で、1200mです。かなたさんとほのかさんが歩いた道のりは、1200mで同じです。かかった時間は、かなたさんのほうが短いです。道のりが同じとき、時間が短いほど速さが速いので、かなたさんのほうが速いです。

【わけ2】 かなたさんの家から学校までの道のりは、 $900 + 300 = 1200$ で、1200mです。だから、かなたさんの歩く速さは、 $1200 \div 20 = 60$ で、分速60mです。ほのかさんの歩く速さは、 $1200 \div 24 = 50$ で、分速50mです。だから、かなたさんのほうが速いです。

学習指導上の留意点

- 二つの数量の関係に着目し、場面に応じて速さの比べ方を考察することができるようにする  
 場面や目的に応じて、単位時間あたりに移動する長さや、一定の長さを移動するのにかかる時間として速さを捉え、速さを比べることができるようにすることが重要である。

指導のポイント

- ・道がまっすぐであることや曲がっていることに関係なく、歩く道のりが等しい場合はかかった時間で速さを比べることができることを説明できるようにする。
- ・道のり÷時間を用いて速さを求めることで、歩く速さを確認できるようにする。
- ・速さの意味に基づいてその道のりや時間を求めたり、図に表したりしながら、問題場面と比べて求めた速さが妥当かどうか判断できるようにする。

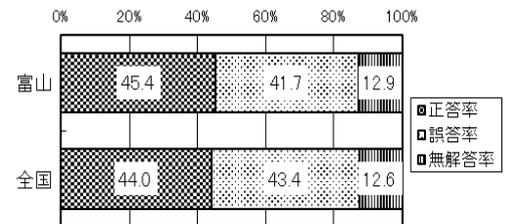
(3) 問題番号 5 (3) <正答率が低く、無解答率が最も高い問題>

学習指導要領における領域・内容：3 学年 D データの活用 (1) イ (ア)  
4 学年 D データの活用 (1) ア (イ)

評価の観点：思考・判断・表現 問題形式：記述式

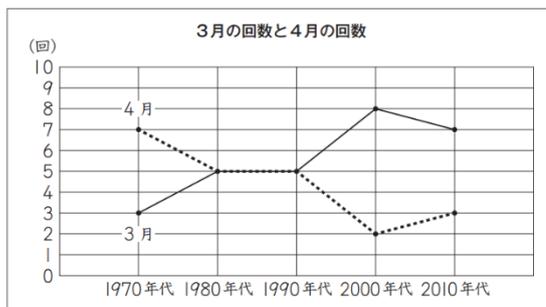
【出題の趣旨】 折れ線グラフから必要な数値を読み取り、条件に当てはまることを言葉と数を用いて記述できるかどうかをみる。

- 正答率は 45.4% で、全国平均より 1.4 ポイント高いが、無解答率が 12.9% で、全問題中最も高い。
- 誤答については、3 月の回数と 4 月の回数の違いが最も大きい年代が 2000 年代であることのみを記述している生徒が 20.8% (全国 21.6%) である。



5 (3) こうたさんは、1970 年代から 2010 年代について、C 市の桜の開花日の月を調べました。すると、1970 年代以降は、開花日の月が 3 月と 4 月のどちらかであることがわかりました。そこで、開花日の月について、各年代の 3 月の回数と 4 月の回数を、下のように折れ線グラフに表しました。

左の折れ線グラフで、3 月の回数と 4 月の回数のちがいが最も大きい年代はいつですか。また、その年代について、3 月の回数と 4 月の回数のちがいは何回ですか。ちがいが最も大きい年代と、その年代について、3 月の回数と 4 月の回数が何回ちがうかを、言葉と数を使って書きましょう。



こうたさんたちは、左の折れ線グラフをもとに、気づいたことについて話し合っています。

こうた 1970 年代は、3 月の回数より 4 月の回数のほうが 4 回多いですね。

ひなの 3 月の回数と 4 月の回数が同じ年代がありますね。

しおり 3 月の回数と 4 月の回数のちがいが大きい年代がありますね。

<正答の条件>

次の①、②の全てを書いている。

- 3 月の回数と 4 月の回数の違いが最も大きい年代が 2000 年代であることを表す言葉
- 2000 年代の 3 月の回数と 4 月の回数の違いが 6 回であることを表す数

正答例

3 月の回数と 4 月の回数のちがいが最も大きい年代は、2000 年代で、2000 年代の 3 月の回数と 4 月の回数の違いは 6 回です。

学習指導上の留意点

○ グラフを読み取り、見いだしたことを表現できるようにする

日常生活の場面のデータをグラフに表し、そのグラフから特徴や傾向を捉え、見いだしたことを表現できるようにすることが重要である。

指導のポイント

- グラフの傾きや重なり等に注目して、数値を正しく読み取り、データの特徴や傾向を捉える活動を取り入れる。
- グラフのどの部分やどの数値を基に必要な情報を読み取ったかを他者に分かるように伝える場面を設定する。

### 3 中学校「国語」

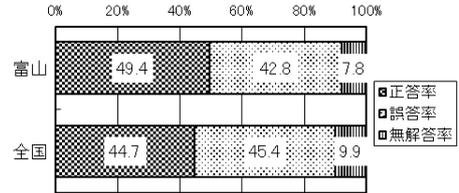
#### (1) 問題番号1四 <正答率が低い問題>

学習指導要領における内容：1学年 A話すこと・聞くことオ

評価の観点：思考・判断・表現 問題形式：記述式

**【出題の趣旨】** 話合いの話題や展開を捉えながら、他者の発言と結び付けて自分の考えをまとめることができるかどうかをみる。

- ・正答率は49.4%で、全国平均より4.7ポイント高いが、全問題中4番目に低い。
- ・誤答については、実際に話すように書くことはできているが、条件1、2のいずれかを満たしていない解答が31.9%（全国32.0%）である。



**四 「話し合いの一部」** 山岡さんの最後の発言を受けて、あなたならどのような考えを述べますか。次の条件1と条件2にしたがって、実際に話すように書きなさい。

なお、読み返して文章を直したいときは、二本線で消したり行間に書き加えたりしてもかまいません。

**条件1** フィルターバブル現象の特徴について取り上げながら、これからのように本を選びたいかを具体的に書くこと。

**条件2** 「話し合いの一部」の誰の発言と結びつけるかが分かるように書くこと。

**1** 山岡さんたちは、国語の時間に、「フィルターバブル現象の資料」と「話し合いの一部」を読んで、あとの問いに答えなさい。

**フィルターバブル現象の資料**

**【話し合いの一部】**

藤田さん：私は、この前、インターネットで和菓子作りの本を探して購入しました。そのあと、インターネットを利用するたびに、和菓子作りに関する本が表示されるようになって、次に読みたい本もすぐに見付かりました。

今井さん：たくさんの本がある中で、自分の好みに合った本を選んで示してくれるのは、便利ですね。でも、他の本の情報に触れにくくなっていると感じませんでしたか。

藤田さん：そうですね。言われてみれば、和菓子作りに関する本がたくさん表示されていたので、最近、それ以外の本の情報にあまり触れていなかった気がします。(図)のこのあたりにいるような感覚ですね。今井さんは、ふだんどうやって本を選んでいるのですか。

今井さん：私は、図書館や書店で本を選んで、読みたい本を見付けるのには時間がかかりますが、本棚を眺めていると、思いがけない本との出会いがあって興味が出ると感じています。

藤田さん：図書館や書店でいろいろな本棚を眺めながら本を選ぶと、時間はかかっても、情報が偏るような状態にはならないでしょうね。

山岡さん：そういえば、インターネットでも様々な人がおすすめの本を紹介しているウェブページがありますよ。そこで紹介されている本は、本を探している人の好みによって選ばれているわけではないので、フィルターバブル現象の影響は受けにくいのではないでしょうか。

今井さん：そのような本の選び方は、学校図書館で、おすすめの本のコーナーから本を選ぶことに似ていますね。おすすめの本には、その本をすすめる人の好みや考えが反映されているので、自分とは異なる価値観に触れることもできますね。

山岡さん：フィルターバブル現象のことを意識すると、本の選び方についても改めて考えてみる必要があると感じました。皆さんは、これからのように本を選ぶほうと思いますか。

**【図】フィルターバブル現象**

自分の好み情報だけに囲まれ、多様な意見から隔離されやすくなる現象。

(文部科学省ウェブページによる。一部改変。)

**【解説】** インターネットでは検索したり閲覧したりした履歴が、使用した通信機器などに記憶され、解析されることで、その利用者の好み情報が優先的に表示されるようになる。一方で、好まないや判断された情報は、はじかれてしまう。このような、情報の偏りが生じたり多様な意見に触れにくくなる状態のことを「フィルターバブル現象」という。

例えば、野球についての検索を多くしていると、次第に野球に関する情報が優先的に表示されるようになる。

#### 学習指導上の留意点

- 話題や展開を捉えながら話し合い、発言を結び付けて自分の考えをまとめることができるようにする

話し合いにおけるいずれの段階においても、話題を意識しながらその経過を捉えて話したり聞いたりすることができるように指導することや、話し合いの展開に応じて、互いの発言を結び付け、話し合った内容を踏まえて自分の考えをまとめられるように指導することが大切である。

#### 指導のポイント

- ・グループで話題を決めて話し合い、その序盤で話題について共通理解したり、発言がある程度出された段階で内容を整理したりしながら、自分の考えをまとめる学習活動を設定する。
- ・自分の発言と他者の発言とを結び付けたり、他者同士の発言を結び付けたりして自分の考えをまとめ、自分の考えの基になった発言や話し合いの内容を整理して述べるように指導する。
- ・ICTを活用し、自分の考えが話し合いの話題や内容とどのように結び付いているのか、そのつながりが分かるようにまとめることができたかななどを、観点を示して振り返る場を設定する。

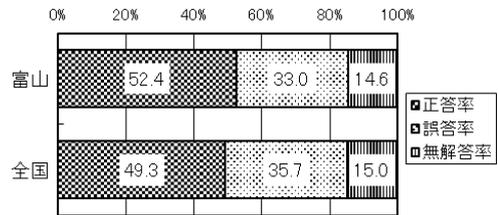
(2) 問題番号3四 <正答率が低く、無解答率が高い問題>

学習指導要領の内容：2学年 C書くことウ

評価の観点：思考・判断・表現 問題形式：記述式

【出題の趣旨】 表現の効果を考えて描写するなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫することができるかどうかをみる。

- ・正答率は 52.4%で、全国平均より 3.1 ポイント高い。また、無解答率が 14.6%(全国 15.0%)と、全問題中最も高い。
- ・誤答については、書き出しに適切に続くように、表現を工夫して物語の最後の場面を書いているが、どのような効果があるのかを具体的に書いていない生徒が 23.2% (全国 26.2%) である。



**3** 佐藤さんは、国語の時間に、「体験をもとに、身近なものを登場人物にした物語を書く」という学習に取り組んでいます。次は、佐藤さんが構想をまとめた「フートの一部」と「物語の下書き」です。これらを読んで、あとの問いに答えなさい。(「フートの一部」及び「物語の下書き」の1から4は、場面の番号を表します。)

フートの一部

(登場人物の設定)  
 ・「僕」……紙の詩書の持ち主(中学生)。  
 ・「世」……紙の詩書の持ち主(中学生)。  
 (もとにする体験)  
 ・小学4年生のとき、紙の詩書を机の上に置いたら、紙の詩書の引き出しが落ちて、紙の詩書が散らばった。  
 ・最近はおんライン詩書ばかり使っている。  
 ・紙の詩書を久しぶりに使った。  
 (物語を通して伝えたいこと)  
 紙の詩書を久しぶりに使って気付いたよき。  
 (各場面で伝えたい「僕」の心情)  
 ④ 忘れられるかもしれない不安。  
 ③ 久しぶりの出版で感じた喜び。  
 ② 次の出版への期待。

【物語の下書き】

① あの日は僕が、君の部屋の本棚の前でじっと待っていた。ほこりだけが目に残っていた。中学生になつてから、君はオンライン詩書を使うようになった。以前はよく、印を付けておき、書き込みをしたりしてくれていた。君との距離は、ずいぶん遠くなってしまった。

② インターネットだと、複数の詩書にアクセスできるから、タブレット端末だけを持ち運べばよい。単語さえ入力すれば、すぐに取りたいものを教えてくれるし、かさばらない。君にとっては、とても便利なのだろう。僕なんて、このまま忘れられてしまうのがな。

③ そう考えていたとき、君は僕の手を取った。学校にタブレットを置いてきたのだろうか。久しぶりだったから、僕はびっくりし、君は二つで大きく目を細めた。はこりだけの僕に紙をしかめなけれど、何度もページを繰っては、いろいろと意味を調べていた。当然、いつもより周囲が騒がしかった。

④ 湖べつは僕が知らない言葉ばかりで、近くにある言葉も僕が知らない。しばらくページを繰り、小学生のときに印を付けた詩集や書き込んだ本を思い出していた。君はみちどりの言葉をしていた。僕は自分が認められたような気がした。

④ あの口から数語が飛んだ。

四 佐藤さんは、「物語の下書き」の□の部分で、「フートの一部」④の場面の「僕」の心情を伝えて物語を終えようとしています。あなたなら、どのように工夫して書きますか。次のア、イについて、それぞれ指示にしたがって書きなさい。

なお、読み返して文章を直したいときは、二本線で消したり行間に書き加えたりしてもかまいません。

ア 「あの日から数日が過ぎた。」に続けて、表現を工夫して書きなさい。

イ あなたがアで書いた表現には、どのような効果があるのかを具体的に書きなさい。

**正答例**

ア (あの日から数日が過ぎた。)窓から差し込む光を浴びながら、今日も僕はいつもの場所で君を待っている。

イ 「窓から差し込む光を浴びながら」のように情景を描写することで、「僕」の期待感が印象的に伝わる。

学習指導上の留意点

- 自分の伝えたいことが伝わるように、表現の効果を考えて工夫して書くことができるようになる
- 用いた語句や表現が、文章の内容を伝えたり印象付けたりする上で、どのように働いているかを確かめながら、より効果的な語句や表現を選ぶことが大切である。

指導のポイント

- ・物語を創作する学習の中で、下書きした文章等を読み合い、どのようなことを伝えようとして各場面の内容を構想していたのか、自分の伝えたいことが伝わるような描写になっているのかなどを、説明したり確かめたりする学習活動を取り入れる。
- ・工夫したところや、ねらいたい効果、語順をなぜ変えたのかなどを書き留めさせ、振り返りに活用できるようにする。物語を書く中で、どのような効果をねらって、どのような表現の工夫をしたか、表現をより効果的にするためには、どのようなことが大切か、などの観点を示し、振り返ることができるように指導する。

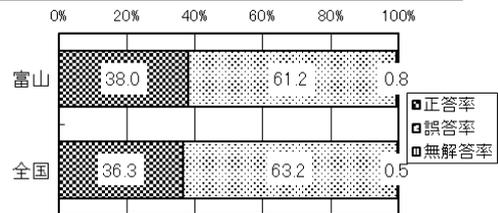
(3) 問題番号2一 <正答率が低い問題>

学習指導要領の内容：2学年 C読むことウ

評価の観点：思考・判断・表現 問題形式：選択式

【出題の趣旨】 文章と図とを結び付け、その関係を踏まえて内容を解釈することができるかどうかをみる。

- 正答率は38.0%で、全国平均より1.7ポイント高いが、全問題中最も低い。
- 誤答については、文章と図とを結び付けて読み、読み手が思い浮かべたり、具体的に捉えたりすることができるようにする役割をもつことを捉えられない生徒が52.1%（全国53.7%）である。



2

次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

文章の内容については、調査問題をご覧ください。

（そのいけきんだけ園池公毅「植物の形には意味がある」による。）

1 実際の葉の形をたくさん思い浮かべることができるように補助する役割。

2 実際の葉の形とそれを表す言葉とを結び付けて捉えられるようにする役割。

3 葉の形を表す言葉を二つのグループに分けるやり方が複数あることを示す役割。

4 葉の形を表す言葉の中では厚み方向の形容が限定的であることの根拠を示す役割。

正答

1、2

学習指導上の留意点

○ 文章と図表等とを結び付け、内容の理解に生かすことができるようにする

図表や写真等を含む説明的な文章を読む際には、示されている図表等が、文章のどの部分と関連しているのかを確認するなどして、書き手の伝えたい内容をより正確に読み取ること、図表等を示すことで文章にどのような効果が生まれているのかを考えることが大切である。

指導のポイント

- パンフレットや雑誌の記事、ウェブサイトを示されている文章等、実生活の中にあるものを教材として取り上げ、文脈を踏まえた上で図表等がもつ役割について考える学習活動を設定する。
- 図表等が文章中にある場合とない場合とを比較し、図表等が示されていることによつて何がどのように分かりやすくなるのかを説明し合うことで、筆者が図表等を用いた意図を考えるように指導する。
- 文章と図表等とを結び付けて解釈することと、図表等を用いて分かりやすく伝えることとを関連付けて指導する。

#### 4 中学校「数学」

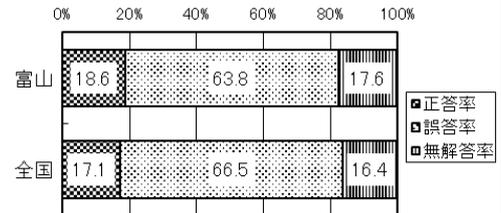
##### (1) 問題番号8(2) <正答率が低く、無解答率が全国よりも高い問題>

学習指導要領における領域・内容：2 学年 C関数(1)イ(イ)

評価の観点：思考・判断・表現 問題形式：記述式

**【出題の趣旨】** 事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することができるかどうかをみる。

- ・ 正答率は 18.6% で、全国平均より 1.5 ポイント高いが、全問題中最も低い。また、無解答率は 17.6% (全国 16.4%) と高い。
- ・ 誤答については、式やグラフから「差」を求めることについて記述しているが、それぞれの式に  $y = 0$  を代入することや、グラフの  $y$  座標が 0 である点に着目することについて記述されていない。

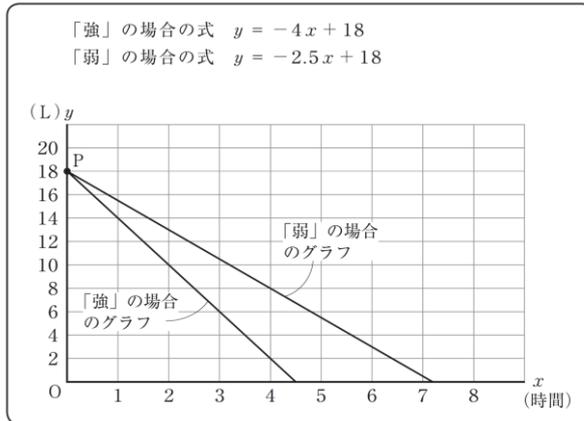


8 (2) 前ページのストーブの使用時間と灯油の残量から、ストーブを使用し始めてから 18 L の灯油を使い切るまでの「強」の場合と「弱」の場合の使用時間の違いがおよそ何時間になるかを考えます。下のア、イのどちらかを選び、それを用いて「強」の場合と「弱」の場合のストーブの使用時間の違いがおよそ何時間になるかを求める方法を説明しなさい。ア、イのどちらを選んで説明してもかまいません。また、実際に何時間かを求める必要はありません。

ア 「強」の場合の式  $y = -4x + 18$  と「弱」の場合の式  $y = -2.5x + 18$

イ 「強」の場合のグラフと「弱」の場合のグラフ

ストーブの使用時間と灯油の残量



〈正答の条件〉

アを選択し、次の(a)、(b)について記述しているもの、又は、イを選択し、次の(c)、(b)又は(c)、(e)について記述しているもの。

- 「強」の場合の式と「弱」の場合の式に  $y = 0$  を代入すること。
- 上記(a)に対応する  $x$  の値の差を求めること。
- 「強」の場合のグラフと「弱」の場合のグラフの  $y$  座標が 0 である点に着目すること。
- 上記(c)に対応する  $x$  の値の差を求めること。
- 上記(c)に対応する 2 点間の距離を読み取ること。

正答例

〈アを選択した場合〉

- ・ 「強」の場合の式と「弱」の場合の式について、それぞれの式に  $y = 0$  を代入し、 $x$  の値の差を求める。

〈イを選択した場合〉

- ・ 「強」の場合のグラフと「弱」の場合のグラフについて、 $y$  の値が 0 のときの  $x$  の値の差を求める。
- ・ 「強」の場合のグラフと「弱」の場合のグラフについて、 $y$  座標が 0 のときの 2 点間の距離を読み取る。

#### 学習指導上の留意点

##### ○ 問題解決のために数学を活用する方法を考え、説明できるようにする

問題解決の構想を立てたり、問題解決の過程や結果を振り返ったりする活動を取り入れ、数学を活用する方法を説明できるようにすることが大切である。

##### 指導のポイント

- ・ 問題解決の方法について、式やグラフをどのように用いればよいかを説明する活動を取り入れる。
- ・ 解決の方法として表現が不十分な説明を取り上げて、問題解決の見通しや過程を共有した場面を振り返りながら、十分な説明にしていく活動を取り入れる。

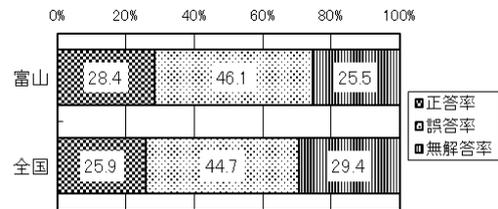
(2) 問題番号7(2) <正答率が低く、無解答率が高い問題>

学習指導要領における領域・内容：2学年 Dデータの活用(1)イ(ア)

評価の観点：思考・判断・表現 問題形式：記述式

【出題の趣旨】 複数の集団のデータの分布の傾向を比較して読み取り、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することができるかどうかをみる。

- ・正答率は28.4%で、全国平均より2.5ポイント高いが、全問題中3番目に正答率が低い。また、無解答率は25.5%（全国29.4%）と高い。
- ・誤答については、箱ひげ図の箱の長さやひげの長さについて記述している生徒が9.6%（全国7.6%）である。

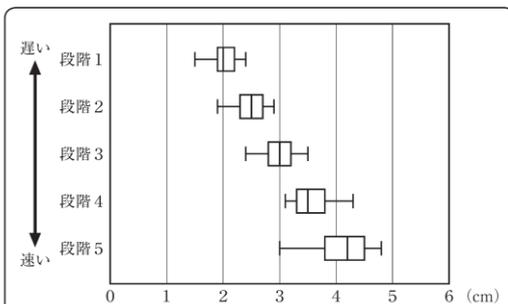


7

(2) 咲希さんは、車型ロボットの速さを変えたときに、10 cm の位置から進んだ距離がどうなるか調べることにしました。そこで、速さを段階1から段階5まで変えて、10 cm の位置から進んだ距離をそれぞれ20回ずつ調べ、データを集めました。そして、データの分布の傾向を比較するために箱ひげ図に表しました。

前ページの10 cm の位置から進んだ距離の分布から、「速さが段階1から段階5まで、だんだん速くなるにつれて、10 cm の位置から進んだ距離が長くなる傾向にある」と主張することができます。そのように主張することができる理由を、10 cm の位置から進んだ距離の分布の5つの箱ひげ図を比較して説明します。下の説明を完成させなさい。

10 cm の位置から進んだ距離の分布



	10 cm の位置から進んだ距離 (cm)				
	最小値	第1四分位数	中央値	第3四分位数	最大値
段階1	1.5	1.9	2.0	2.2	2.4
段階2	1.9	2.3	2.5	2.7	2.9
段階3	2.4	2.8	3.0	3.2	3.5
段階4	3.1	3.3	3.5	3.8	4.3
段階5	3.0	3.8	4.2	4.5	4.8

説明

したがって、速さが段階1から段階5まで、だんだん速くなるにつれて、10 cm の位置から進んだ距離が長くなる傾向にある。

<正答の条件>

次の(a)又は(b)について記述しているもの。

- (a) 箱ひげ図の箱がだんだんと右側にずれていっていること。
- (b) 第1四分位数と第3四分位数がだんだんと大きくなっていること。

正答例

- ・速さが段階1から段階5まで、だんだん速くなるにつれて、箱ひげ図の箱の位置が右側にずれていっている。
- ・速さが段階1から段階5まで、だんだん速くなるにつれて、第1四分位数と第3四分位数が大きくなっている。

学習指導上の留意点

- データの分布の傾向を比較して読み取り、判断の理由を数学的な表現を用いて説明できるようにする

判断の理由を数学的な表現を用いて説明する際には、箱ひげ図の箱の位置や四分位数等を根拠として説明できるようにすることが大切である。

指導のポイント

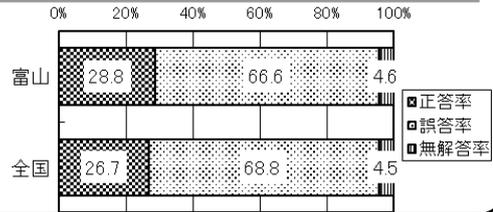
- ・データの収集の仕方や分析の方法は適切か、結論は妥当かなど批判的に考察できるように、四分位範囲や四分位数、箱ひげ図の箱の位置等に注目して、複数のデータの傾向を多面的に吟味し、判断した事柄の理由を説明する活動を取り入れる。

(3) 問題番号9(2) <正答率が低い問題>

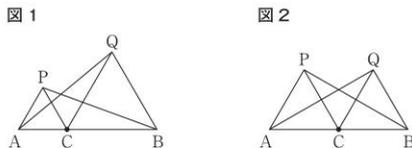
学習指導要領における領域・内容：2学年 B図形(2)ア(イ)イ(ア)  
 評価の観点：知識・技能 問題形式：選択式

【出題の趣旨】 事象を角の大きさに着目して観察し、問題解決の過程や結果を振り返り、新たな性質を見いだすことができるかどうかをみる。

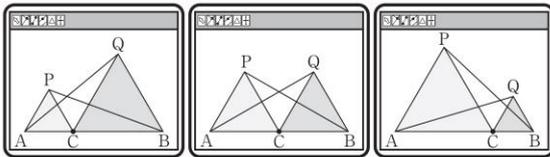
- ・正答率は28.8%で、全国平均より2.1ポイント高い。
- ・誤答については、①をイと解答している生徒が23.5%（全国24.7%）である。



9 線分ABがあります。線分AB上に点Cをとり、AC、CBをそれぞれ1辺とする正三角形PAC、QCBを、線分ABについて同じ側につくります。そして、点Aと点Q、点Bと点Pを結びます。ただし、点Cは点A、Bと重ならないものとします。  
 桃子さんは次の図1のように点Cをとり、健太さんは次の図2のように線分ABの中点に点Cをとりました。

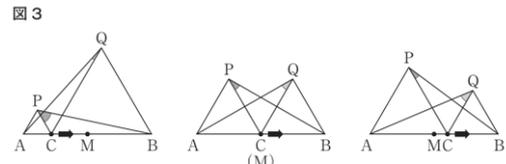


二人は図1と図2を観察し、線分や角についていえることがないか気になりました。そこで、コンピュータを使って点Cを動かしながら調べました。



(2) 健太さんは、線分ABの中点に点Cをとった場合に $\angle AQC$ と $\angle BPC$ が等しく見えたことから、他の場合にはどうなるか気になりました。

そこで、次の図3のように、線分ABの中点をMとして、点Aから点Bの方向へ点Cを動かした場合に $\angle AQC$ と $\angle BPC$ の大きさがどうなるかを調べ、下のようにまとめました。



健太さんは、前ページの調べたことから、 $\angle AQC$ と $\angle BPC$ の和について何かいえることがないか考えています。このとき、 $\angle AQC$ と $\angle BPC$ の和について、次のことがいえます。

- ◎ 点Cが点Aと中点Mの間にあるとき、 $\angle AQC$ と $\angle BPC$ の和は ①。
- ◎ 点Cが中点Mと点Bの間にあるとき、 $\angle AQC$ と $\angle BPC$ の和は ②。

上の ①、② のそれぞれに当てはまるものを、下のアからエまでの中から1つずつ選びなさい。

- ア 60°より大きい
- イ 60°より小さい
- ウ 60°になる
- エ 60°より大きいことも小さいこともある

正答 ① ウ  
② ウ

学習指導上の留意点

○ 事象を図形に着目して観察し、問題解決の過程や結果を振り返り、新たな性質を見いだすことができるようにする

条件を保ったまま動かした図形を観察し、辺や角について変わらない性質を見いだすことができるようにすることが大切である。

指導のポイント

- ・紙を使った図形を動かしたり、コンピュータで図形が動く様子を観察したりすることなどを通して、図形の移動について理解できるような活動を取り入れる。
- ・1人1台端末等を活用して、それぞれの生徒が図形を操作して成り立つと予想される図形の性質を見いだす活動を取り入れる。
- ・問題の条件を変えた場合、それに伴って変わったところや、条件を変えても変わらないところについて考えるなど、統合的・発展的に考察する活動を取り入れる。